

製品名: G3BP ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe84229**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ICC,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.71mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ICC 1:50-1:200,FC 1:20-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 52 kDa ; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

遺伝子名	G3BP
別名	G3BP; G3bp1; hDH VIII;;G3BP1
遺伝子 ID	
SwissProt ID	Q13283
免疫原	ヒト G3BP1 由来の合成ペプチド

背景

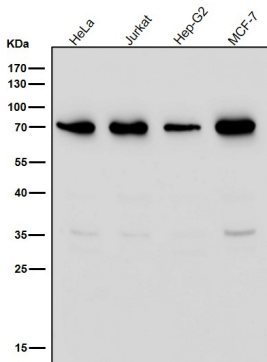
ストレス顆粒形成や自然免疫などのさまざまなプロセスに関与するタンパク質。ストレス顆粒形成に重要な役割を果たします。ストレス顆粒は、ストレスに反応して停止した翻訳開始前複合体などの mRNA とタンパク質を格納する膜のないコンパートメントです。折り畳まれていない RNA が結合すると、液液相分離 (LLPS) を起こして、ストレス顆粒の相分離された膜のないコンパートメントの形成を促進します。細胞内の遊離 RNA 濃度の上昇に反応して RNA 依存性 LLPS をトリガーする分子スイッチとして機能します。

研究分野

-

画像データ

すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。



Hela 細胞溶解物中の G3BP 発現のウェスタン プロット分析。

